2-1　建物用途現況

■建物用途現況図

横浜市の建物棟数の合計は約90万棟で、このうち住宅系が約90%を占め、工場や運輸倉庫施設等を含む工業系が約5%、業務施設等を含む商業系、公共施設等を含むその他がそれぞれ約4%です。

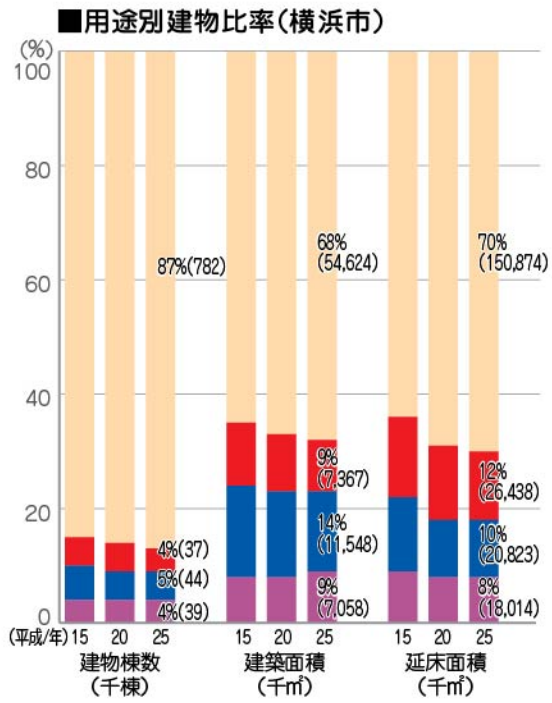
建築面積の合計では、住宅系が約68%、商業系が約9%、工業系が約14%、その他が約9%です。また延床面積の合計では、住宅系が約70%、商業系が約12%、工業系が約10%、その他が約8%です。

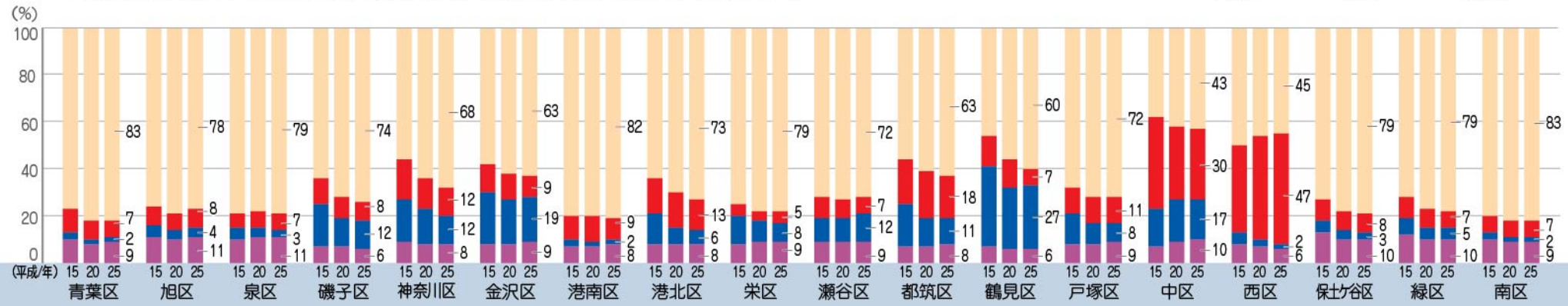
区別のグラフでは、各用途別の延床面積の合計の割合を示しています。

*建築面積：建物を真上から見たとき、建物の外周の柱又は外壁の中心線で囲まれた面積
*延床面積：建物の各階の床面積の合計

注）建物用途分類については、3-1「建物用途分類」を参照してください。

■用途別建物比率（横浜市）



■区別用途別建物比率（延床面積ベース）

*グラフの数値は上から、住宅系、商業系、工業系、その他　の割合を示しています。